

医学系研究に関する情報公開および研究協力のお願

聖隷浜松病院では、当院の臨床研究審査委員会の承認を得て、下記の医学系研究を実施しております。

研究の実施にあたり、対象となる方の既に存在する試料や情報、記録、あるいは、今後の情報、記録などを使用させていただきますが、対象となる方に新たな負担や制限が加わることは一切ありません。

ご自身の試料や情報、記録を研究に使用してほしくない場合や研究に関するお問い合わせなどがある場合は、以下の「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。研究への参加を希望されない場合、研究対象から除外させていただきます。研究への参加は自由意思であり、研究に参加されない場合でも、不利益を受けることは一切ありませんのでご安心下さい。

研究課題名	乳腺 Solid papillary carcinoma の臨床病理学的検討
研究責任者	研究責任医師: 聖隷浜松病院 病理診断科 大月寛郎 研究分担医師: 聖隷沼津病院 外科 芹澤 淳
研究実施体制	聖隷浜松病院 病理診断科 聖隷沼津病院 外科
研究期間	臨床研究審査委員会承認日 ~ 2025年3月31日
対象者	1994年1月から2021年4月までの間に聖隷浜松病院乳腺科および聖隷沼津病院外科にて乳癌の手術が行なわれ、聖隷浜松病院病理診断科にて乳腺 Solid papillary carcinoma と診断された患者様
研究の意義・目的	乳腺の Solid papillary carcinoma (SPC) は乳癌における稀な亜型として知られています。SPC は神経内分泌形質を有していることが報告されていますが、その臨床的意義について検討された報告は少ないです。当科では SPC の診断例を比較的多く経験しており、2007 年にも Pathology International 2007; 57: 421-429 にて SPC 20 例の臨床病理学的研究を発表している。今回は当科で経験した SPC 127 例に関して、特に SPC における神経内分泌形質の意義や他の組織型との異同について検討して行きたいと考えている。また今回の扱う症例は 127 例、経過観察期間 26 年と現在までの報告の中で最多で最長の経過観察症例群であり、SPC の臨床病理学的特徴および神経内分泌形質の意義を明らかにできると期待している。
研究の方法	対象患者様に関して、診療録から年齢、性別、乳癌の家族歴、手術日、病理学的所見、転帰に関する情報を検索します。また、病理診断科で保管している病理、細胞診検体に関して、組織形態、細胞形態の詳細な観察を行い、新たに免疫染色を行いません。
個人情報の取扱い	本研究で利用する資料や情報、記録からは、直接ご本人を特定できる個人情報は削除した上で、研究成果は学会や雑誌等で発表されます。取り扱う情報は、厳密に管理し、外部に漏洩することはありません。なお、個人情報の利用目的等について詳細をお知りになりたい場合は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
個人情報開示に係る手続き	個人情報開示の手続きについては、「問い合わせ窓口」にご相談下さい。
資料の閲覧について	ご要望があれば、開示可能な範囲で、この研究の計画や方法について資料をご覧いただくことができます。ご希望の方は、「問い合わせ窓口」までご連絡下さい。
問い合わせ窓口	聖隷浜松病院 病理診断科 (氏名) 大月 寛郎 TEL: 053-474-2222(代表) 9:00~17:00 平日